

CROSS POINT

時間と空間の
交差点。
クロスポイント

こがわうしろだ 小川後田A遺跡

平成16年の8月から12月にかけて小川後田A遺跡の発掘調査が行われました。

遺跡は田村町小川に所在し、市内でも有数の遺跡密集地帯の中�습니다。周りを見渡せば大善寺古墳群、山中日照田遺跡、永作遺跡など古墳時代の大集落跡があります。

遺跡の調査面積は約2,000m²で市道の新設工事に伴って行われました。

動物を生け捕る縄文時代の落とし穴、弥生時代や古墳時代の土器片、奈良時代の住居跡、中世の白磁や青磁など幅広い年代の遺構や遺物が発見されました。



2号住居跡

奈良時代の竈です。竈の中が真っ赤に焼けています。



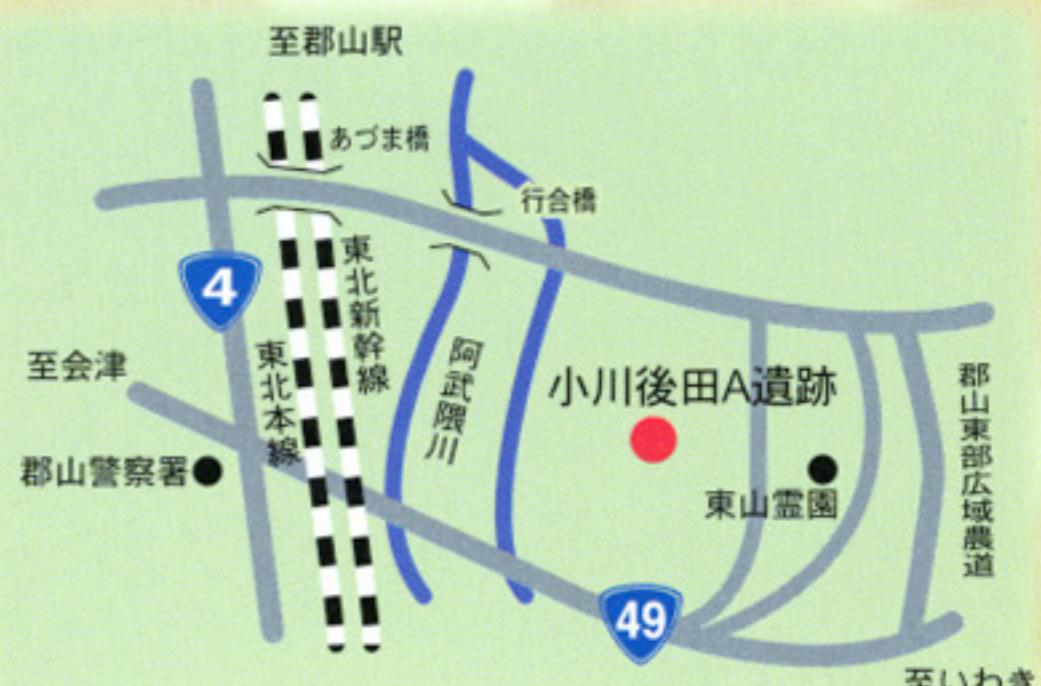
4号住居跡

奈良時代の住居跡です。耕作によってだいぶ上面が削られていますが、この家は約2.7坪で当時としてはやや小さめの家です。



11月11日

この日、高瀬小学校の6年生が見学にきました。手前に2号住居跡が見えます。



郡山市内遺跡ガイド 喜久田町

郡山市には1,168ヶ所の遺跡があります。このコーナーでは市内各地域の遺跡を順次紹介していきます。第一回は喜久田町です。

喜久田町には現在発見されている遺跡が14ヶ所あります。時代は縄文時代から中世までさまざまです。また、遺跡台帳には未登録ですが薬師堂に2基、龍角寺に2基、中世に造られた阿弥陀三尊像があります。

喜久田町 主な遺跡

遺跡名	住所	時代
① 小室遺跡	前田沢字小室山	縄文
② 上原遺跡	前田沢字上原	縄文
③ 西館遺跡	前田沢字原三丁目	縄文・平安・城館
④ 前田沢城跡	前田沢一丁目	城館跡
⑤ 東館跡	前田沢一丁目	城館跡
⑥ 釜場窯跡	堀之内字釜場西	窯跡
⑦ 北山遺跡	堀之内字北山	縄文
⑧ 高林遺跡	早稲原字高林	縄文・奈良・平安・中世
⑨ 堀之内遺跡	早稲原字柳田・梅田	城館跡
⑩ 馬城内遺跡	早稲原字柿乙	縄文
⑪ 大谷地脇遺跡	早稲原字大谷地脇	縄文
⑫ 藤内遺跡	前田沢字藤内	縄文
⑬ 宮ノ前遺跡	早稲原字宮ノ前	平安
⑭ 伝左エ衛門原遺跡	早稲原字伝左エ衛門原	平安

高林遺跡

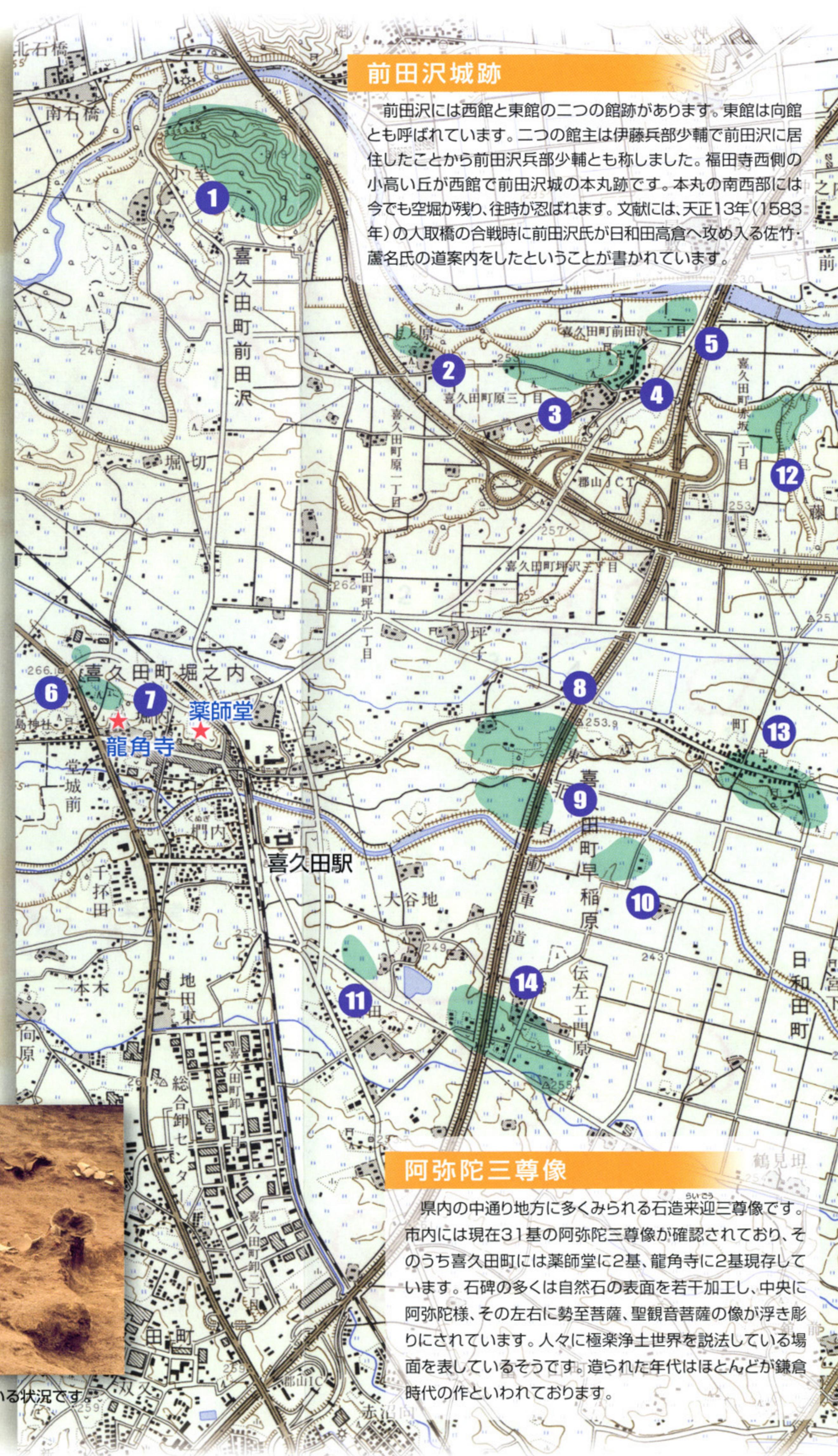
昭和45年に東北縦貫道路の建設に先立って発掘調査が行われました。喜久田町では唯一、発掘調査が行われた遺跡です。調査箇所は高速道路と藤田川の交差点から北へ約1kmの所です。調査の結果、平安時代の住居跡一棟と中世の館跡と考えられる堀跡の一部や、門の跡などが検出されました。高林遺跡のすぐ南に、堀之内遺跡という城館跡があることからなんらかの関連性が考えられます。



高林遺跡の調査前の風景



平安時代の住居跡 土器が出土している状況です



前田沢城跡

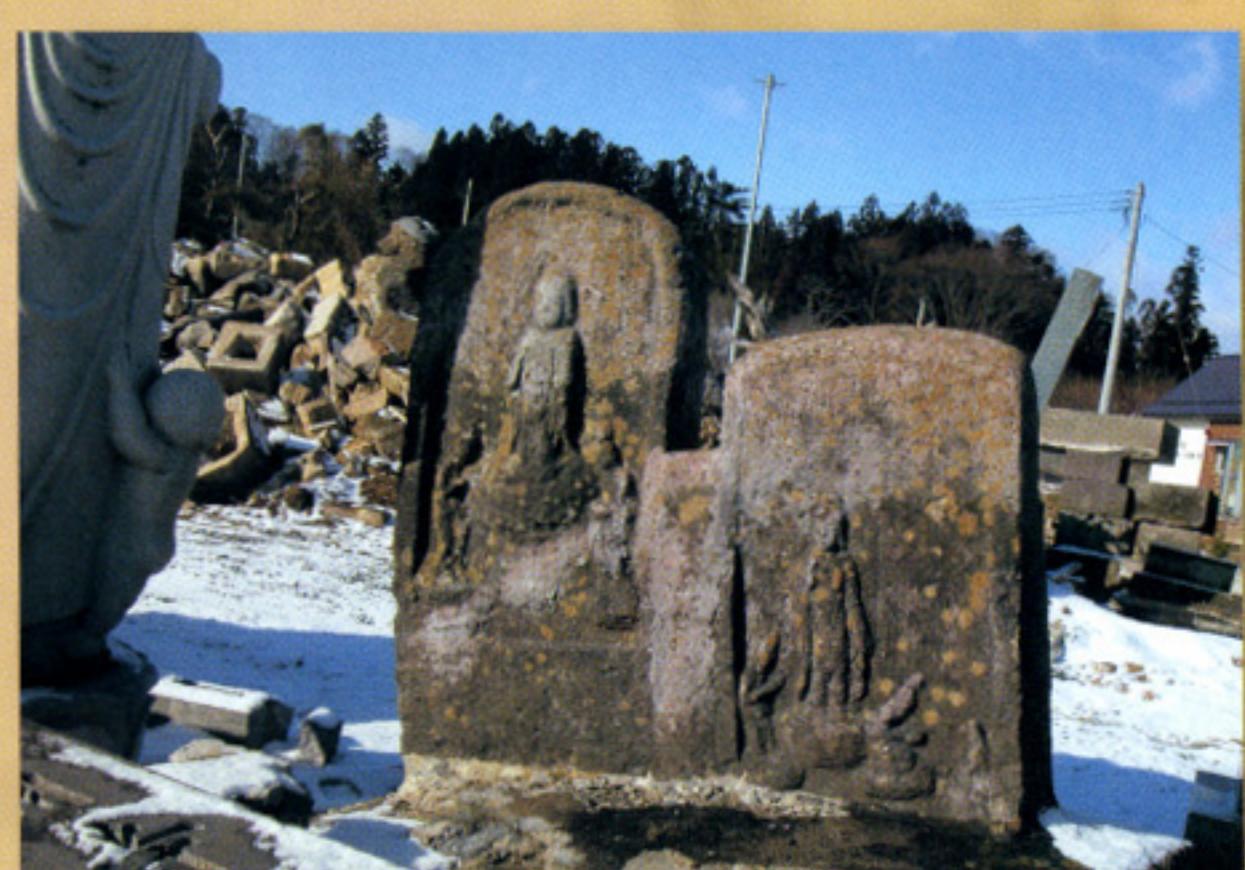
前田沢には西館と東館の二つの館跡があります。東館は向館とも呼ばれています。二つの館主は伊藤兵部少輔で前田沢に居住したことから前田沢兵部少輔とも称しました。福田寺西側の小高い丘が西館で前田沢城の本丸跡です。本丸の南西部には今でも空堀が残り、往時が忍ばれます。文献には、天正13年(1583年)の人取橋の合戦時に前田沢氏が日和田高倉へ攻め入る佐竹・蘆名氏の道案内をしたということが書かれています。



福田寺の裏手が前田沢城の本丸です。



本丸の南西部には空堀が今でも残っています。



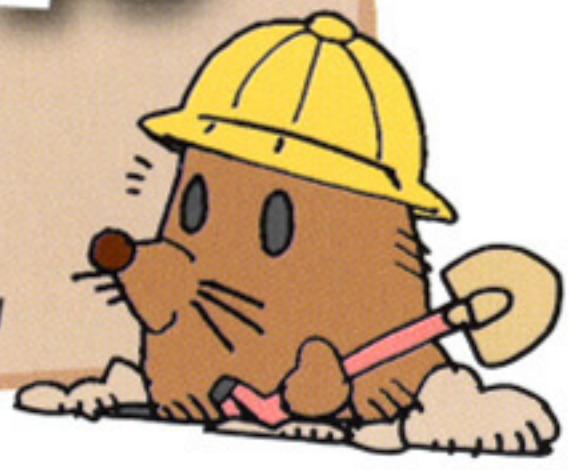
龍角寺の境内にある阿弥陀三尊像。
現在は、本堂建て替えのため他所へ移設されています。



薬師堂の裏にある阿弥陀三尊像。
草むらの中にひっそりとたたずんでいます。

まいぶん 掲示板

REPORT & INFORMATION



平成16年度の
発掘調査が
終了しました。



市内では大安場古墳群(第6次)、白旗遺跡(第2次)、転沢遺跡(第2次)、柏山遺跡(5次)、小川後田A遺跡、の5ヶ所の調査が行われ、市外では、須賀川市仁井田地区の新田館跡、西館館跡、坊内遺跡、同市森宿の下宿御所宮館跡、御所の宮古墳の5ヶ所の発掘調査を行いました。

●大安場古墳群／田村町大善寺

平成16年の7月から12月まで、第6次調査が行われました。今回は古墳公園の整備に向けて、古墳の全容を解明するための調査でした。大安場古墳は平成3年の発見から平成7年の測量調査、平成8年から10年までの本調査を経て、平成12年には国の史跡指定を受けました。平成14年からは古墳公園の復元整備を目的として、当時の古墳の形を確認するための調査が行われてきました。今年度ですべての調査が終了し、来年度からは本格的に公園の整備が始まります。平成3年の発見から13年の歳月がながれ、ようやく大安場古墳はその姿を現代によみがえらせることになりました。古墳公園は平成21年に完成予定です。

(担当:柳沼賢治)



大安場古墳を北より望む



大安場古墳調査風景

●柏山遺跡／大槻町柏山

柏山遺跡は郡山の弥生時代を代表する遺跡です。第1次調査は昭和40年に行われ、その後、45年、53年、57年とこれまでに4回の発掘調査が行われてきました。これまでの調査では弥生時代の墓坑等が発見され、壺や勾玉、管玉等が出土しました。今回は弥生時代よりもっと古い縄文時代前期(約6,000年前)の遺構や遺物が発見され、写真は市内では発見例の少ない諸磯式と呼ばれる縄文土器片です。



(担当:鳴原靖彦)



柏山遺跡出土 諸磯式縄文土器

クロスポイント Vol.11

■発行・編集／財団法人 郡山市埋蔵文化財発掘調査事業団

〒963-0541 福島県郡山市喜久田町堀之内字畠田23番地
TEL.024-959-3305 FAX.024-959-3321
<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/maibun/index.htm>

■発行日／平成17年2月15日

